

Leader



2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2026年2月5日

<https://www.leader.co.jp/>

2026年3月期 第3四半期 決算



<https://www.leader.co.jp/>

2026年3月期 第3四半期 決算総括

業績：ビデオ関連は、欧州、日本の投資意欲が冷え込んだ状態が継続。
 北米堅調、インド好調もカバーしきれず。
 盗難事故の影響と日本国内市場の低迷により通期業績予想を修正。

■ 売上高：2,920百万円（前期比+4.0%）、経常利益△16百万円（前年同期は△284百万円）

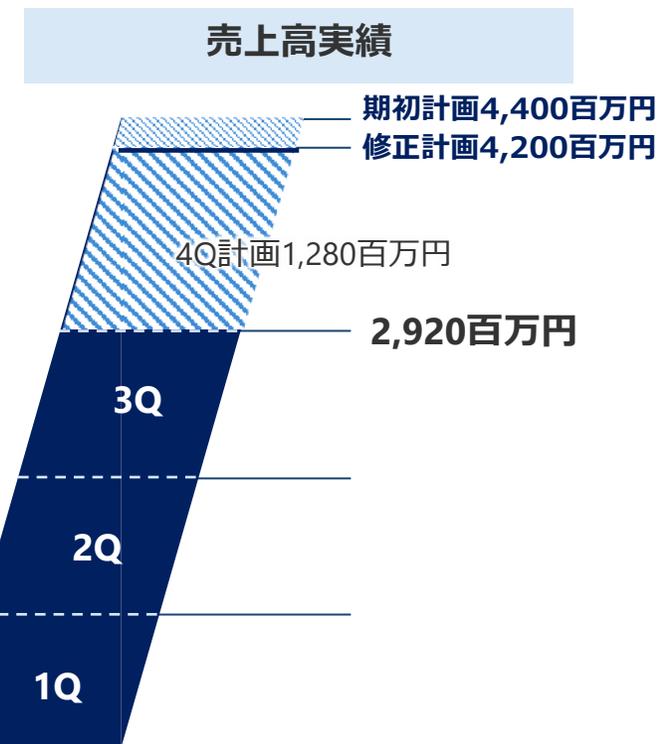
■ 財務：自己資本比率 65.9%と盤石の財務基盤維持（前期末比 △4.8pt）

※ 前期末比で低下したのはAI Picasso子会社化に伴い借入を実施したことが影響。
 ※ ACG グロース1号投資事業有限責任組合を割当先とし自己株式84.7万株を処分を実施。4億円を調達。
 （詳細は2025年12月8日開示資料をご参照ください）

北米	堅調。丁寧な営業の評価が高まり当社シェアが拡大中。
欧州	想定以上に低調。回復に向けた出足も鈍い。
インド・中東	インド好調。まだ規模は小さいがポテンシャルは非常に大。
中国	内需活性化策の範囲で一定の需要があり低調ながらも順調。
日本	電波関連機器で特需。ビデオ関連は一段と冷え込み。

■ 業績見通しについて

- 北米、インドの好調は続くものの、盗難事故の影響と日本国内市場の低迷が響き予想を修正。
- 製造キャパシティを盗難品の再生産に充当する必要があるがあり、他の顧客向け製品の供給が後倒。
- 日本国内市場の低迷が想定以上。通常発生する3月にかけての大きな積み上がりが期待できない状況。
- 通期売上高を44億円→42億円に修正。

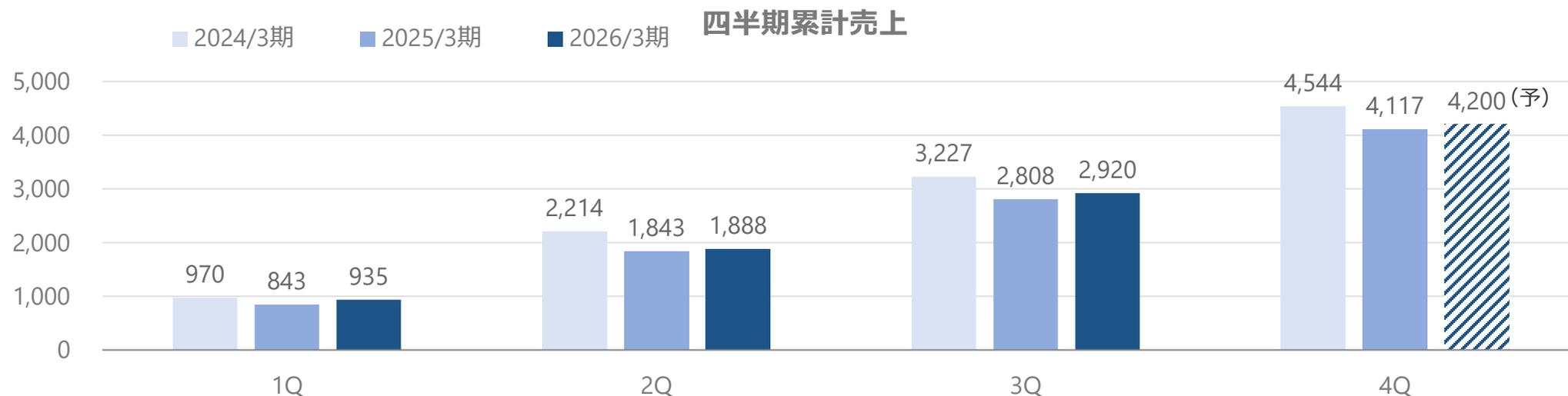
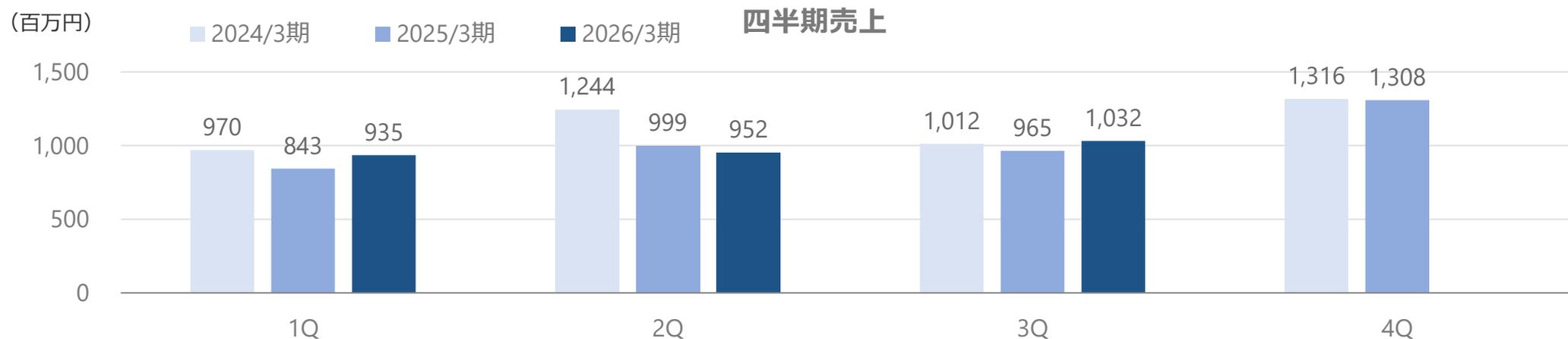


2026年3月期 第3四半期 決算概要

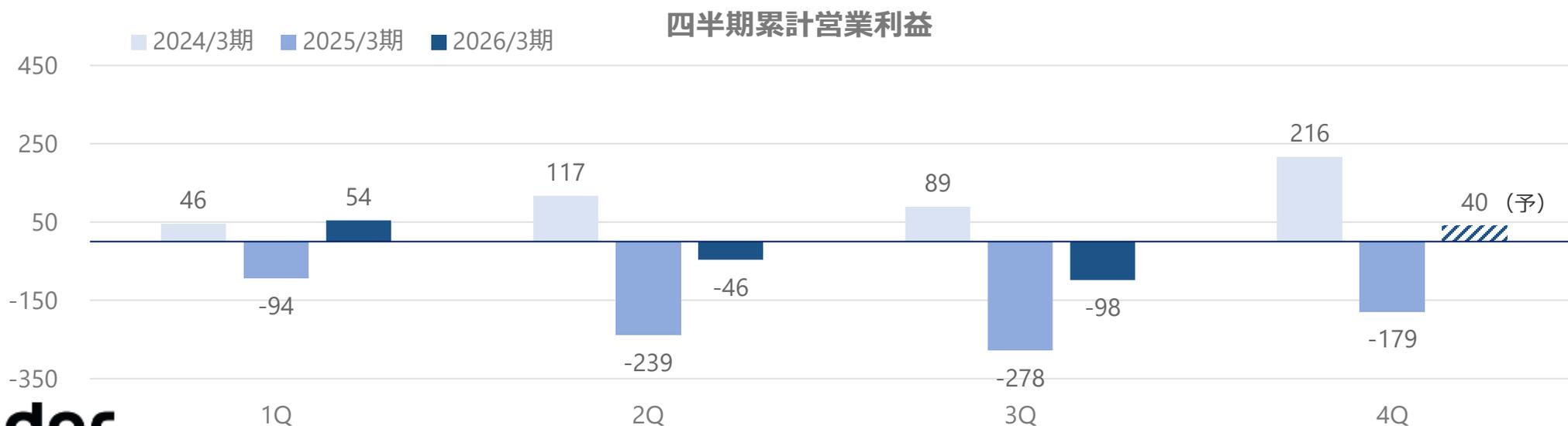
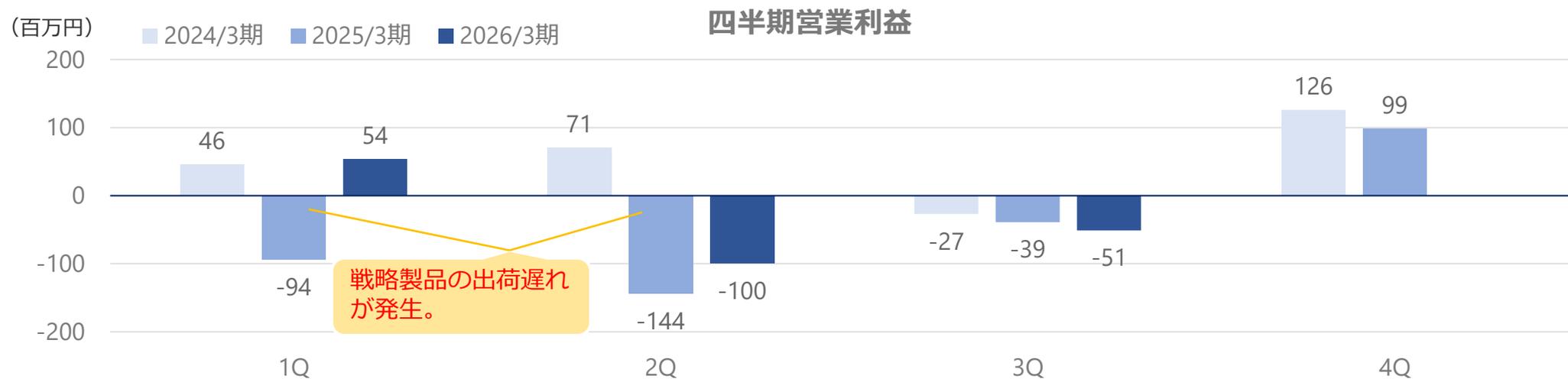
売上高、各段階利益は前年同期を上回るものの、ビデオ関連機器は欧州市場と日本国内における設備投資マインドが想定以上に軟調。

(単位：百万円)	2025年3月期 3Q 実績	構成 %	2026年3月期 3Q 実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	2,808	100	2,920	100%	+4.0%
売上総利益	1,802	64.2	1,888	64.6%	+4.8%
販売費及び一般管理費	2,080	74.1	1,986	68.0%	△4.5%
営業利益	△278	—	△98	—	—
経常利益	△284	—	△16	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△280	—	△125	—	—
EBITDA	△228	—	△54	—	—

四半期業績推移（売上高）

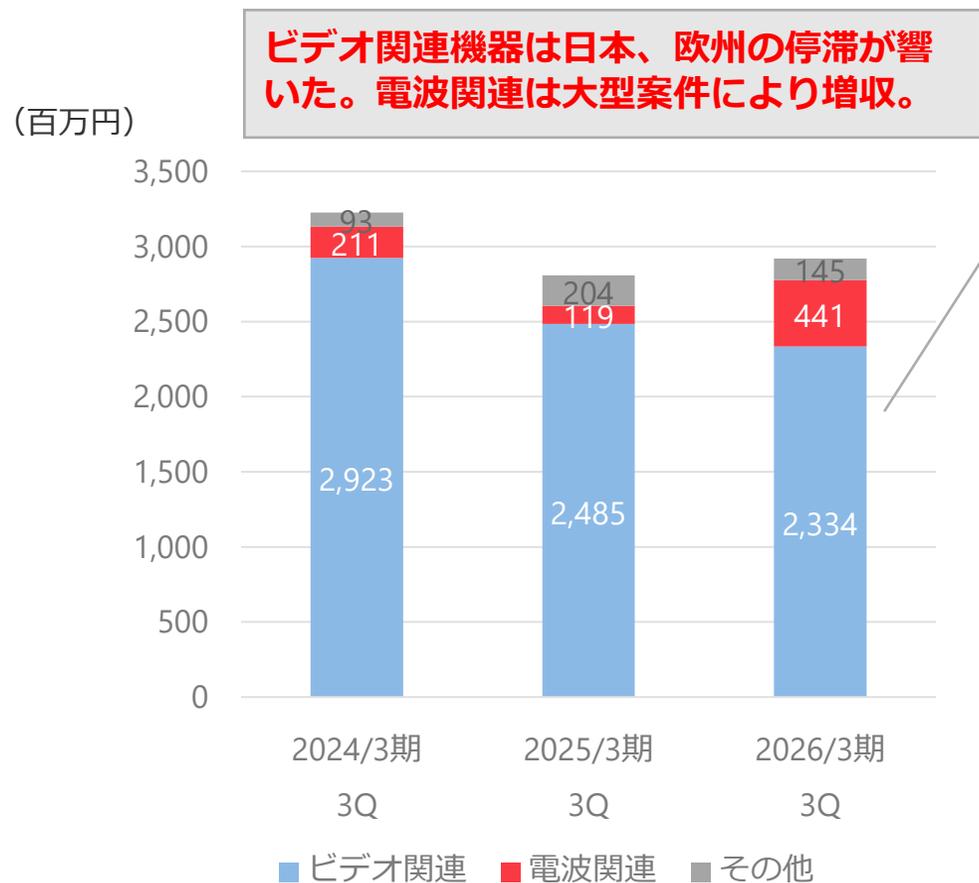


四半期業績推移（営業利益）

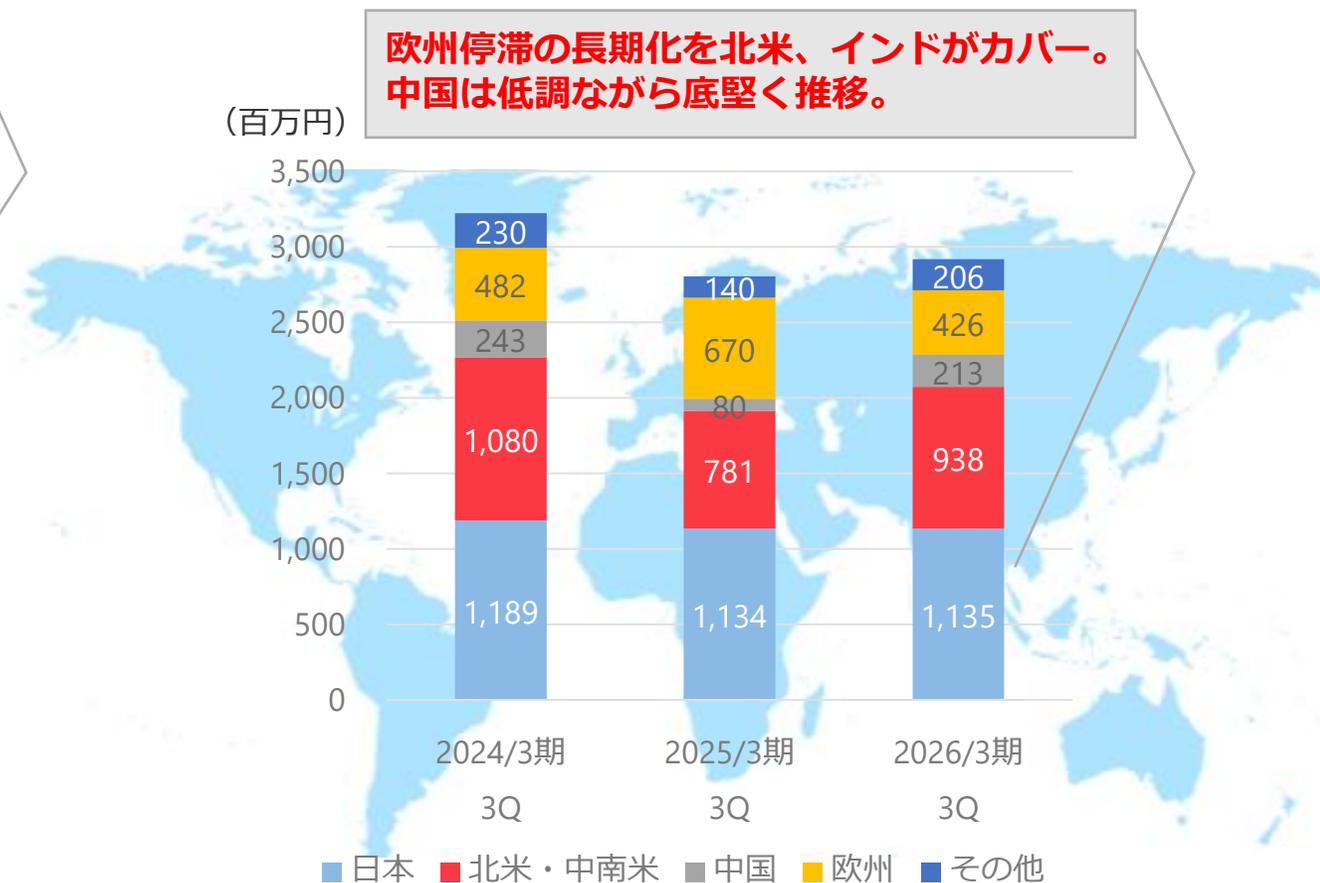


セグメント情報

商品別売上高



地域別売上高



単位:百万円	25年3月末	25年12月末
流動資産	3,571	3,885
現預金	1,229	917
受取手形、売掛金及び契約資産	930	1,212
商品及び製品	555	853
その他	856	902
固定資産	959	1,232
有形固定資産	445	480
無形固定資産	43	204
投資その他の資産	470	548
総資産	4,531	5,117
流動負債	860	1,217
買掛金	138	150
短期借入金・1年内返済予定の 長期借入金	228	531
その他	493	535
固定負債	467	526
退職金に係る負債	357	384
その他	109	141
純資産	3,203	3,374
株主資本合計	3,246	3,519
その他包括利益累計等	-43	-145
負債純資産合計	4,531	5,117

資本コストをより意識した経営を重要な経営課題と認識

既存事業（バリュービジネス）でのシェア向上と新規事業（グロースビジネス）の収益化という自社経営資源による成長及びM&A等を通じた外部資源を活用した成長によりROEを改善することを目指す一方、自己株取得等の施策を通じて資本コストを低減することにより、企業価値を向上し、資本コストを安定的に上回るROEの達成を目指す。

【主な増減要因】（単位：百万円）

□ 現金及び預金	▲311
□ 商品及び製品	+297
□ 受取手形、売掛金及び契約資産	+282
□ のれん	+158
□ 短期借入金	+305

自己資本比率65.9%（前期末比 △4.8pt）※

※ 第三者割当により自己株式84.7万株を処分

2026年3月期 通期計画

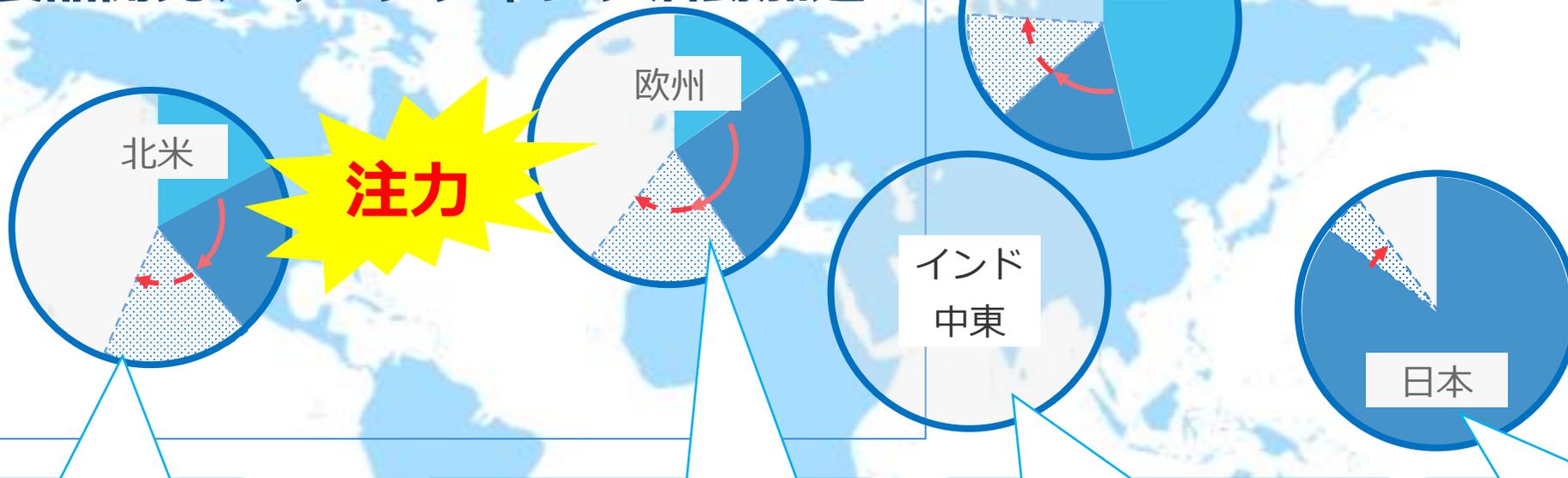


<https://www.leader.co.jp/>

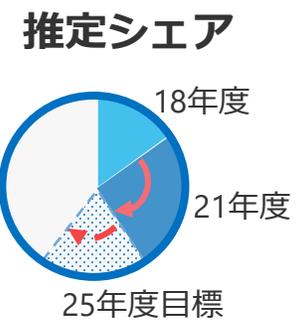
外部環境認識と事業方針

関税問題はmade in China製品を販売する競合から、北米トップシェア奪取のチャンス。積極的な営業を展開。

欧米のシェア拡大に向け経営資源投下
製品開発、マーケティング活動加速



限定的だが、一定の需要を確実に獲得。



競合の大幅ディスカウント攻勢を受けるも、CSを武器にマーケティング強化。

足元は低迷。マーケット環境は徐々に回復と予測するも低迷が長引くことも想定。シェア拡大に向けマーケティング強化。

インド：シェアの獲得を優先し、積極的な営業展開を継続。案件は着実に増加。
中東：地政学リスクから様子見。

市場全体の低調な投資意欲が継続することを想定

- 日本国内投資意欲が想定以上に冷え込んでおり、通年見込んでいる年度末に向けての盛り上がりが見込めないことに加え、盗難事故への対応で製造キャパシティを盗難品の再生産に充当するため、他の顧客向け製品の供給が後倒しとなることもあり、通期業績予想を修正。
- 自己株式処分により調達した資金とACG社のネットワーク、ノウハウを活用しVMA事業拡大のための活動を加速。

(単位：百万円)	2025年3月期 実績	構成 %	2026年3月期 修正計画	構成 %	前年同期比 %	2026年3月期 期初計画
売上高	4,117	100%	4,200	100%	+2.0%	4,400
営業利益	△179	—	40	1.0%	—	250
経常利益	△223	—	80	1.9%	—	250
親会社株主に帰属する 当期純利益	△185	—	55	1.5%	—	190
EBITDA	△112		122			320

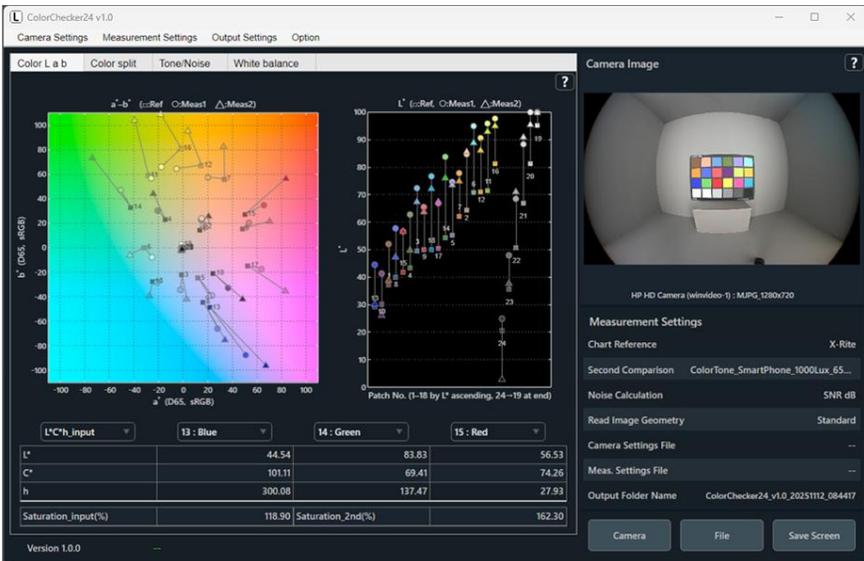
➤ SFR-Fit suite 提供開始



SFR-Fit suite

車載カメラモジュール・リアビューモニター・電子ミラー用の画質評価ソフトウェア。

車載カメラ用解像度測定アプリ「SFR-Fit」をベースとし、Imatestの画質測定エンジンを使用した、色・ノイズ・ダイナミックレンジなどのオプションアプリを追加することにより、**車載カメラシステム評価に必要な全てのアプリケーションをオールインワン化。**



SFR-Fit suiteでは全領域のレンズの解像度測定が可能に。

Imatest社について

本社：米国・コロラド州。画像評価のためのソフトウェア、テストチャート、周辺機器のメーカー。15年以上にわたって画像解析で業界をリード。携帯電子機器、セキュリティ、自動車などに使用するカメラモジュールの研究、開発、生産で非常に多くの導入実績を有する。当社は、日本におけるImatest社製品の販売、サポートをおこなっている。

【新製品：1月19日 機能追加したバージョン1.2をリリース】

Leader

NDI® チェッカー

Pro-AV市場に向けたソフトウェア製品

➤ Windows PCで動作するソフトウェア製品

NDI®チェッカー

NDI信号のモニタリングアプリケーション

NDI

NDI®をより簡単・安心してご利用いただくための製品

新しい顧客層を獲得（下記参照）、導入先拡大に向け取り組み中

本製品の優位性について

- リアルタイムでのNDI測定
- 特別なハードウェアを必要としない導入・測定の手軽さ
- Pro-AV市場に合わせた価格帯



2025年10月

「The ProAV Best in Market 2025 Awards」

受賞

※製品サイト：<https://ndi-checker.leader.co.jp/>

導入企業一覧

掲載許可を頂いたお客様のみのお客様のみの掲示となります。

ARK VENTURES

アークベンチャーズ株式会社様

COVER

カバー株式会社様

dwango

株式会社ドワンゴ様

KOWA

株式会社光和様

※アルファベット順で掲載しています。

【NEWソリューション/グロースビジネスカンパニー】

Leader

自動制作ソリューションについて

「実写とCGを、もっと楽に自然に。」映像制作の自動化ソリューション



YouTube 公開

https://www.youtube.com/watch?v=ILCLp_s3Kvc

企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続。

(配当：円)

